JST 理事長
記者説明会

令和元年7月17日

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

輝く女性研究者賞
（ジュン アシダ賞）

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

概要

趣旨

女性研究者の活躍を推進する取り組みの一環として、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究などを行っている女性研究者及びその活躍を推進している機関を表彰。
なお、芦田基金（※）より、副賞100万円提供のご協力をいただきます。
※　1994年に、デザイナーの故　芦田 淳　氏が、青少年教育を目的として設立した基金。

対象者（自薦／他薦ともに可）

- 【輝く女性研究者賞】
  ：女性研究者　1名　原則40歳未満
  （ただしライフイベントによる研究活動休止期間を勘案）
- 【輝く女性研究者活躍推進賞】
  ：機関　1機関
  女性研究者の活躍推進に貢献する、他機関のモデルとなるような取り組みを行っている機関

選考委員

鳥居 啓子（委員長）
ワシントン大学 卓越教授
ハワードヒューズ
医学研究所（HHMI）正研究員

浅川 智恵子
IBMワトソン研究所
IBMフェロー

阿部 玲子
オリエンタルコンサルタンツ
グローバル インド現地法人
取締役会長

北川 宏
京都大学
大学院理学研究科
教授

村山 斉
米国カリフォルニア大学
バークレー校　教授
東京大学国際高等研究所
カブリ数物連携宇宙研究機構
（IPMU）
教授・主任研究者

室伏 きみ子
お茶の水女子大学学長

柳沢 正史
筑波大学国際統合
睡眠医科学研究機構
機構長

応募状況及び今後のスケジュール

応募状況

応募期間　4月1日～6月30日
応募状況　輝く女性研究者賞（女性研究者）　　100件以上
　　輝く女性研究者活躍推進賞（機関）　　10件以上

今後のスケジュール

- 選考　　7月上旬～8月中旬
- 受賞者・受賞機関発表　　10月17日（理事長記者説明会を予定）
- 表彰式　　11月17日　13：00～14：30
  （場所：日本科学未来館（予定））

表彰式に併せて受賞者、受賞機関代表者等と、一般参加の高校生とのトークセッションも実施予定。

現在、プログラムを調整中。受賞者発表の際に詳細を発表予定。

- 第7回科学の甲子園ジュニア全国大会
- 第9回科学の甲子園全国大会
- 「国際科学オリンピック 日本開催シンポジウム」開催概要

科学技術振興機構

第7回科学の甲子園ジュニア全国大会

日時：　令和元年12月6日(金)～8日(日)
場所：　つくば国際会議場、つくばカピオ

※都道府県大会（主催：都道府県教育委員会）は
6月～9月に順次開催しています。
こちらへの取材も是非お願いいたします。

主催：　国立研究開発法人科学技術振興機構
共催：　茨城県、茨城県教育委員会、つくば市
後援：　文部科学省、全日本中学校長会、全国中学校理科教育研究会、公益社団法人日本理科教育振興協会（全て予定）

スケジュール：

12月6日（金）：開会式、オリエンテーション
12月7日（土）：筆記競技、実技競技（2競技）
選手交流パーティー
12月8日（日）：ブース展示、表彰式

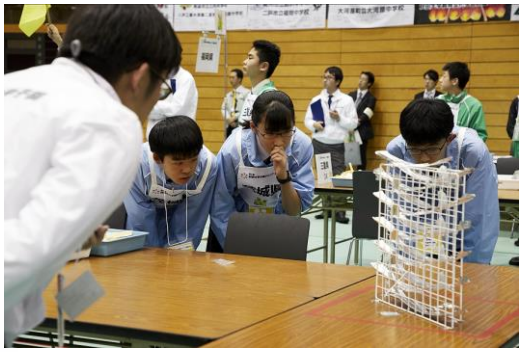
種目	競技数	競技者数	配点比率	競技時間
①筆記競技	1競技	6名/1競技	筆記競技と実技競技の配点比率は　1：2	70分程度/1競技
②実技競技	2競技	3名/1競技		90分程度/1競技

昨年度（第6回）の様子

筆記競技

実技競技①
「溶解熱はふたつある」

実技競技②
「ザ・キューブ2」



第9回科学の甲子園全国大会

日時：　令和2年3月20日(金)～23日(月)
場所：　ソニックシティ、サイデン化学アリーナ（さいたま市記念総合体育館）

※都道府県大会（主催：都道府県教育委員会）は
6月～1月に順次開催しています。
こちらへの取材も是非お願いいたします。

主催：　国立研究開発法人科学技術振興機構
共催（予定）：　埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会、高等学校文化連盟全国自然科学専門部
後援（予定）：　文部科学省、公益社団法人日本理科教育振興協会

スケジュール：

3月20日（金）：開会式、オリエンテーション、筆記競技
交流イベント
3月21日（土）：実技競技（3競技）
3月22日（日）：特別シンポジウム、表彰式、ブース展示
フェアウェルパーティー
3月23日（月）：エクスカーション、解散

種　目	競技数	競技者数	配点比率	競技時間
①筆記競技	1競技	6名／1競技	筆記競技と実技競技の配点比率は1：2	120分程度
②実技競技	3競技	3～4名／1競技		競技毎に決定

昨年度（第8回）の様子

筆記競技

実技競技①
「地学ペンタスロン」

実技競技②
「糖を問う」

実技競技③
「ツール・ド・さいたま」

「国際科学オリンピック 日本開催シンポジウム」開催概要

池上 彰さんと考える日本の科学ときみの未来 第2弾

ノーベル生理学・医学賞受賞者 山中伸弥先生がきみたちにエールを送ります！

目的：　次世代の科学系人材の発掘・育成、 科学教育への関心の向上と社会的支援の気運の醸成

2020年国際生物学オリンピック長崎大会（IBO2020)と、それに続く「化学（2021年）」「物理（2022年）」「数学（2023年）」の日本開催に向け、広く一般を対象に科学の魅力を伝搬

日時：　2019年8月22日（木）13時20分～16時30分

場所：　東京大学本郷キャンパス　伊藤謝恩ホール（400名収容）

対象：　小・中・高校生とその保護者、教育関係者、一般

進行：　第１部：　講演・パネルディスカッション　（13:20~15:00）

★講演：　浅島 誠 IBO2020組織委員長 / 山中 伸弥 京都大学教授

★パネルディスカッション：

モデレーター：　池上彰氏

パネラー：　山中 伸弥 教授、化学オリンピック代表生徒、生物学オリンピックOB、アマゾンジャパン合同会社

第２部：　覗いてみよう科学オリンピックの世界・体験ワークショップ　（15:20-16:20）

主催：　科学技術振興機構

共催：　日本科学オリンピック委員会

協力：　各教科オリンピック実施団体　等

特別協賛：　アマゾンジャパン合同会社

後援：　文部科学省

日本科学未来館
科学コミュニケーション活動における注目テーマの設定について

科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency

日本科学未来館　注目テーマを設定

日本科学未来館では、科学技術がかかわる重要な社会課題を注目テーマを設定し、市民を巻き込んだ科学コミュニケーション活動を今秋より重点的に展開する。

テーマ「人工知能が及ぼす社会変革」

【背景】

- 人工知能は、社会の注目を集めているテーマのひとつ
- 「なんでもやってくれる」「仕事が奪われる」といったイメージ先行の期待と不安が交錯
- 理解が進まず、人工知能の利用を避けるといった人々が増え、その恩恵を社会全体が享受できない可能性がある
- 未来館では、道具としての人工知能の理解、およびAI社会における人間の価値や役割を来館者とともに考えていく

【実施内容】

- 産業技術総合研究所人工知能研究センターの未来型AI自販機に対する市民参加型実証実験(秋)
- 落合陽一氏(筑波大学准教授)総合監修の常設展「日常に溶け込む計算機環境 自然と人間」(仮)の公開(秋)
- 学校団体向けワークショップ「人工知能との付き合い方」の開始(秋)
- 小学生らがプログラミングを通じて人工知能の可能性と限界を考える実験教室(来年はじめ)

落合陽一氏総合監修の常設展イメージ